

発 行  
福井県大野市天師町1番1号  
大 野 市 役 所  
電話(代) 6-1111  
郵便番号 912  
印刷 松浦印刷所



9月の人口の動き

|     |        |      |        |
|-----|--------|------|--------|
| 出生  | 男 22   | 女 15 | 計 37   |
| 死亡  | 男 14   | 女 11 | 計 25   |
| 転入  | 男 68   | 女 56 | 計 124  |
| 転出  | 男 64   | 女 67 | 計 131  |
| 世帯数 | 10,074 |      |        |
| 人口  | 43,244 |      |        |
| 男   | 20,731 | 女    | 22,513 |



もと牛20頭がはいろいろ美しい牧場風景を見せている奥越高原牧場

## 奥越高原牧場ほぼ完成

### 望まれる畜産家の利用

大野市南六呂師、勝山市池ヶ原にわたって余り利用されていない牧野や原野などを大規模に開発して、福井県畜産振興の基盤を確立しようとして、県が三億五千万円を投じて昭和四十三年から三カ年計画で造成してきた「県営奥越高原牧場」は、ほぼ完成しました。

十月下旬には北海道から平均五十万円するホルスタイン種のもと牛二十頭が導入され、敷きつめたような緑の牧草とこれをはむ牛、赤い畜舎が調和して、美しい牧場風景を見せています。

公害をなくして、市民の健康を守り、生活環境をよくしていこうと、10月1日、大野市公害対策協議会が発足しました。この協議会は、学識経験者、市議会議員、企業代表、住民代表、行政機関の職員のうちから、市長が委嘱した21人の委員で構成され、騒音・悪臭・廃液・ばい煙・粉じん・ガス・振動・地盤沈下など各種の公害を防止し、問題によっては改善策を関係機関に対して要望や助言をすることになっています。

10月14日には市役所で初会合を開き、まず役員を選出、会長には高田新左衛門氏(市議会議長)を、副会長に宮沢西兵衛氏(下庄地区区長会長)を選び、市長からこれまでの経過を聞いて、これからの取り組み方を協議しました。

この結果、次のような3つの部門に分け、効果のあがるよう対策を打ち出していくことを決めました。

① 騒音・振動部会、部会長は中山利

夫氏(市議会議員)

② 水質汚濁・地盤沈下部会、部会長は石田政治氏(市議会公害対策特別委員長)

### 公害対策協議会が発足

#### 部門ごとに対策を進める

③ 悪臭・大気汚染部会、部会長は山田主治氏(市農業委員会会長)

#### 公害追放には事業者、住民の協力が

「公害のない住みよい環境に生活したい」これは万人の願いですが、公害をなくするためには、国・県・市がそれぞれの施策を進めることはもちろんのこと、事業者(経営者)、住民の理解と協力がなければ、効果がありません。

国の「公害対策基本法」にも、国・県・市の責任と義務を明記するとともに、事業者、住民も国などの公害防止の施策に協力するなど、公害の発生の防止に努めなければならないとしています。行政機関事業者、住民の3者が協力し合って、人命や財産などがそこなわれることのないよう努力を続けましょう。

牧場の総面積は273㌥(273町歩)。

草地200㌥、道路約4,900㌥、用・排水施設約4,000㌥、看視舎4、畜舎3、農具庫2、燃料庫1、乾燥施設1、大型サイロ2、診療所1などが整備され、北陸1の規模。

これらの造成事業は農地開発機械公社が行ない、降雪を前にして畜舎や牧道など、最後の仕上げを急いでいます。

牧場に収容するのは、乳用牛320頭、肉牛100頭、計420頭の計画です。乳用牛の内訳は ①子牛を買い取り約25カ月間育成して県内酪農家に売るもの200頭(来年は100頭)。 ②4月末から10月末まで酪農家から預かるもの100頭。 ③買い取り育成用のもと牛20頭。肉用牛は育成牛・繁殖牛の季節預託となっています

このほか牧草を県内畜産家に売り渡すなど幅広く活用されます。

来年4月から正式に奥越高原牧場として運営されますが、まず地元大野市をはじめ県内の畜産家が、このりっぱな牧場を有効に利用して、名実ともに北陸一の畜産センターに育てていかなければなりません。

# 自衛隊の手で改良進む

## 県道松ケ谷・宝慶寺・大野線

大野市と池田町を結ぶ県道松ケ谷・宝慶寺・大野線の改良工事が、自衛隊の手によって行なわれています。

県が自衛隊第10師団に依頼し、10月1日から鯖江322地区施設隊の竹内喜三郎隊長ほか25人の隊員が、元宝慶寺小学校に合宿して工事を進めています。

これまで、同線の池田町大本一宝慶寺間は人が通れる程度の道でしたが、これを幅5㍍にして、車が通れるように改良するものです。

まず、昨年池田町側から着工し、大本から宝慶寺座禅岩までの1,500㍍を同隊が施工し、残る大野市側2,727㍍を、ことし11月末までに完成させ、全線開通することになります。

ことしの工事区間で切り開く土砂や岩石は約4万4,780立方㍍、大型ブルドーザー1台、中型ブルドーザー3台、コンプレッサー1台を駆使し、岩石にぶつかわると爆破作業をしながら、1日40～50㍍を進めています。

隊員は朝7時宿舎を出発、標高650㍍の現場まで歩いて登り、竹内隊長の指揮のもとに午後5時までみっちり作業に励まれています。

県道路課の話では、この工事を普通の請負いに出すと5～6年かかり、工費も約

3,800万円はいるとのこと。来年度には路側工事や砂利を敷くなど、さらに整備される予定です。

大野市と池田町の念願であったこの道路の開通、整備はもうすぐ。両者の交流と森林資源の開発に、また、ハイキングコースとしてもながめがすばらしく、この開通に大きな期待がかけられています

(写真は作業に励む自衛隊員)



### 機構改革に伴い

### 人事異動

市は10月1日付けで、機構改革に伴う人事異動を発令しました。係長級以上の異動は次のとおりです。( )は旧任。

#### 【市長部局】

▷秘書広報課長 多田登(厚生課長兼福祉事務所長)、▷庶務課長 松田樵(総務課長)、▷企画財政課長 小林亮之介(企画室主幹)、▷農務課長 野崎二郎(同)、▷土木課長 浜竜一(上庄公民館長)、▷都市計画課長 松田孝信(建設課長)、▷厚生課長兼福祉事務所長 酒井新左衛門(監査委員事務局長)、▷庶務課長補佐兼庶務人事係長 宮本芳雄(市民課市民係長)▷同課公害交通係長 西田忠(教委庶務係長)、▷企画財政課長補佐兼同係長 山中幸蔵(総務課庶務係長)、▷同課管財係

長 桜井清臣(総務課)、▷税務課長補佐兼収税係長 斎藤曠(建設課管理係長)、▷農務課長補佐 兼振興係長 井尾 治郎左衛門(同課指導係長)、▷同課土地改良係長 田中恵(林務係長)、▷同課農地係長 笹島積(厚生係長)、▷林務課長補佐 石塚一男(農務課土地改良係長)、▷商工観光課長補佐 東野太(同課係長)、▷市民課長補佐兼市民係長 沢田武雄(保険衛生課保健係長)、▷同課電子計算係長 植村英二(企画室)、▷保健衛生課長補佐兼環境衛生係長 朱雀貞男(同課衛生処理場係長)、▷同課保健係長 田刈子利一(福祉事務所保護係長)、▷同課衛生処理場係長 森本利勝(同課)、▷土木課長補佐兼管理係長 大谷忠一(農務課農地係長)、▷同課工務第一係長 金巻啓一(建設課工務係長)、▷同課工務第二係長 松田次男(建設課)、▷同課補修係長 千田巧(建設課同係長)、▷都市計画課長補佐兼計画係長 福島実(税務課収税係長)、▷同課区画整理係長 白井志一(建設課)、▷厚生課長補佐 松本時哉(小山公民館長)、▷福祉事務所保護係長 熊野昭治(同所)、▷出納課長補佐 明石善吉(同係長)

【監査委員事務局】▷局長 印牧弥右衛門(農務課長)

【教育委員会事務局】▷上庄公民館長 松本才市(保険衛生課環境衛生係長)、▷庶務課長補佐 中村為(総務課財務係長)▷学校教育課係長 堀八重(同課)、▷体育課係長 前川昭吾(税務課)、▷下庄公民館長 深美不可止(同心得)、▷乾側公民館長 花山長右衛門(同)、▷五箇公民館長 林信治(同)、▷小山公民館長 石丸正朗(同館)、▷社会教育課長兼体育課長 笠松常和(社会教育課長)、

【議会事務局】▷次長 羽生忠夫(同係長)



22

さんじや  
三社の

### あまご 雨乞い踊り

市の無形文化財に指定(昭和42年5月)されている三社の雨乞い踊りはオンナ神に対する男

たちの神意慰めの舞で、保存会の人たちによって尾永見に伝承されていますしめ太鼓としば笛に合わせて、はっぴ、ももひき、向うはちまき姿の男が両端に紅白の紙を巻いた9尺(2.7㍍)のかしの棒を持って踊ります。この棒は水しやくを象徴し、動作は水くみ、水車を表わしています。

坂戸・尾永見・大門の共同鎮守であ



雨乞い踊りを踊る尾永見の人たち

る三社の祭神は弁財天で、干ばつの多いこの地方では、古くからこの神に雨乞いが行なわれていたようです。

いつのころからか神のお告げで、神のくろ体は篠座神社の池の中島に移り、大陰暦6月8日の弁財天の例祭は、尾永見から篠座まで行列して雨乞いをしたと記録に残っています。

## 市へ200万円相当の備品

大野信用金庫 創立20周年を記念して

大野信用金庫(理事長土田信平氏)は創立20周年記念事業として、市へ200万円相当の備品を寄贈してくださいました。内訳は、図書100万円相当と学校教

民館図書室に備え貸し出します。

◎オーバーヘッドプロジェクターとは、書きながらスクリーン(映写幕)に投影できる機械。

育振興にオーバーヘッドプロジェクター14台100万円相当。図書は信金文庫として大野公

## 大庭 大ちゃんら 20人

優良乳幼児を表彰

ことしの優良乳幼児の表彰式が10月22日市役所で開かれ、身長と体重のバランスがとれていて、発育のすぐれた大庭大ちゃんら20人に、市長から表彰状と記念品が贈られました。

受賞したのは次のあかちゃん。( )内は住所、保護者。

大庭 大(塚原、保夫)、古山浩司(美川町2区、義雄)、松山雅樹(富島、正男)、岩本優子(上打波、一男)、中森敏晴(上中野、国雄)、権守英樹(平沢、栄一)、上西 聡(有明町、良晴)、山田英明(弥生町、達三)、前田幸雄(上五条方、清)、宮浦 勝(蕨生、正男)、佐々木志野(上舌、定夫)、谷口香津江(春日3丁目、正)、牛嶋智恵(花山、正一)、山下香織(中津川、利夫)、寺坂久仁子(春日3丁目、哲夫)、瀬野尾泰子(有明町、勝)、村中みどり(落合、甚孝)、辻内香苗(森政領家、岬)、宮田直子(本町1区、謙介)、藤田こと美(中津川、茂雄)。

## 交通安全 旬 間 中 に 9件、24人の死傷者

### 原因は運転者の判断誤り

10月6日から15日まで秋の交通安全県民運動が展開されましたが、この旬間中大野管内でも9件(昨年8件)の事故があり、死者1人(昨年0人)、負傷者23人(昨年10人)という残念な結果に終わりました。

旬間中には、警察官の街頭

指導や取り締まりを強める一

方、大野市交通対策協議会が中心となって、広報車による毎日の訴え、交通安全茶屋の開催2回、交通移動相談所の開設、道路・安全施設の点検など、事故ゼロの達成を目標に数々の運動を展開してきました。これらの運動を無視したかのよう



車を点検中に紅茶をサービス

な事故の原因は、その大半が運転者の判断の誤りで、①相手が避けてくれるだろう。②相手が止まってくれるだろう、という安易な考えによるものでした。

この結果を教訓にして、運転者も歩行者も、細心の注意をいたしましょう。

### 踏み切り事故を防ぐには

10月2日、越美北線牛ヶ原の踏み切りで死亡事故がありました。福井鉄道公安室では、このような踏み切り事故を防ぐために次のように呼びかけています。

- 1、踏み切りでは「一時停止」を守り「左右の安全」を確認する。
- 2、複線踏み切りでは必ず「反対列車」に気をつける。
- 3、踏み切りで対向車と行き違い困難なときは、その通過を待つ。脱輪や行き違いに手間どり衝突の恐れがある。
- 4、踏み切りで動けなくなったら、まず列車を止める手配をする。
- 5、自動車には赤旗や信号煙管を備える。
- 6、踏み切りでの変速はやめる。エンジンの恐れがある。

### 暴力犯罪の取り締まりを強化

10月21日から、全国一斉に暴力犯罪特別取り締まりが実施されています。大野警察署でも、この日から取り締まりを強化するため、制服・私服警察官を繰り出して、繁華街を中心に市内全域にわたって夜間パトロールを実施して、暴力犯罪の予防と検挙にあたっています。

暴力を一掃して、明るく住みやすいまちにするため、みなさん方のご協力をお願いします。

- ・ タカリ、ユスリ、脅迫など暴力犯罪の被害者は泣き寝入りしないで、必ずもよりの駐在所または警察署にお知らせを。
- ・ 緊急の場合は、すぐ110番で通報を
- ・ 困りごとの相談にも応じています。

—大野警察署—

### 今から転作の準備を

来年の生産調整に備えて

来年の米の生産調整は、全国では300万トンになるともいわれ、大野市でも面積にして約500㌃になるものと予測されます。

この調整にあたっては、農業経営を安定させるためにも、やはり休耕より転作を中心にしたいものです。

転換作物としては、イチゴ、里いも、ニンジンなどが大野に適した有望なものとしておすすめし、実績を上げつつあります。

市は来年の生産調整対策として、これらの作物を中心に、農協や普及所と連絡をとりながら、地域ごとの転作計画を早急に立てていきます。農家のみなさんも来年にそなえて、今のうちからこれらの“種”、“苗”を確保しておきましょう。

### スマイル

「カラーテレビ不買同盟」

赤くなったり 青くなったりしています

—メーカー

—コーナ—

# お知らせ

## 救急車のサイレンは ピーポー

10月1日から救急車は、ピーポーサイレンに変わりました。

この車が通るときは、消防車と同様通行の障害にならないよう直ちに道路を譲りましょう。

## 市民課からのお願い

① 旧西谷村民の方で、まだ転居手続きを終えていない方がいます。これらの方は、11月中旬に手続きされるようお願いいたします。

② 10月1日から、事務の一部をコンピューターで処理しています。コンピューターは「カタカナ」で打ち出してくるため、各世帯員の名前の呼び方などをハガキで照会しました。誤りの場合は返事をいただいておりますが、まだあるかと思えますので、お届けしてある返信用ハガキで、これも11月中に返答してください。

## 雇用促進住宅の入居受け付け

大野公共職業安定所では、現在勝山市下毛屋に建設中の「雇用促進住宅下毛屋宿舍」の入居申し込みを受け付けています。この住宅は、移転就職者用の宿舍として建てられるもので、来年3月に完成、4月から入居できる予定です。

鉄筋コンクリート2階建ての2むねが建設され、80世帯がはいれます。1世帯には6畳と4畳半の2室があてられ、近代的な台所、ガス浴場、水洗便所も完備されます。家賃は1ヵ月5,200円の予定です。

詳しいことは大野公共職業安定所へお尋ねください。

## 中小企業者へ年末資金を融資

県では、中小企業者の方に、年末の資金繰りの一助として、次のように中小企業季節金融資金(年末資金)を融資します。ご希望の方は早めにお申し込みを。

|      |                         |
|------|-------------------------|
| 貸付金額 | 1企業者、100万円以内            |
| 利率   | 年8%                     |
| 貸付期間 | 4ヵ月以内                   |
| 取り扱い | 福井相互銀行・各信用金庫など          |
| 返済方法 | 取り扱い金融機関の定めによる。         |
| 申し込み | 10月20日から取り扱い金融機関で受け付け中。 |

## 米穀通帳の有効期間が延長

現在使われている米穀類購入通帳の有効期間は、一般用が11月30日まで、業務用・職場加配用が10月31日までとなっていますが、いずれも1年間延長されることになりました。

## 公衆電話の市内通話は3分

市内のダイヤル式公衆電話の市内通話は、3分で打ち切りになります。実施は11月20日午後3時から。

▷打ち切りになる公衆電話。青・赤電話ただし次の電話は打ち切りになりません  
110番、119番、市外通話および115番(電報)、104番(案内)など局への業務用電話。

ピンク電話、電話局・郵便局にある公衆電話。

▷打ち切りの予報音。打ち切りの30秒前に予報音(ドミソ)のチャイムが2回鳴ります。引き続き利用したいときは、受話器をかけてから、改めて10円硬貨を入れ、かけ直してください。

## 市内局番「5局」が誕生

11月20日午後3時から市内局番「5局」

## 11月 社会体育 コーナ

- 市民レクリエーションバレーボール大会、8日9~16時、市営コート
- 市民サイクリング 15日9~14時、大野—平泉寺
- 奥越駅伝大会 29日10~14時、大野←→勝山

ができます。これは今後の電話増設に備えて、局内に新自動交換設備が増設されたためです。公衆電話の番号は全部5局一〇〇〇〇番になります。

◎ 電話の申し込みは、電話でも受け付けています。 一大野電報電話局一

## 納税者の声をお寄せください

11月1日から10日までは「納税者の声を聞く旬間」です。大野税務署では次のような行事をして、納税者のご意見やご要望を税務行政に採り入れ、親しみやすい税務署にするよう努めています。ご協力をお願いします。▷座談会 ▷中学生の標語募集 ▷高校生の税務署見学 ▷アンケートの実施 ▷納税者表彰 ▷税務署幹部の納税者宅訪問。

なお毎月5・15・25日は税の相談日ですから、ご利用ください。

## 郵便局、臨時職員を募集

大野郵便局では、年末の実習生(高校生)を募集しています。仕事の内容は、年賀ハガキ、小包の分けや配達など。このほか 主婦のパートタイムの仕事や12月から翌年3月までの郵便配達の仕事もあります。条件など、詳しいことは局でお尋ねください。



第二回大野市農業祭は、十一の両日多彩なプログラムで開催される。内容をみると、全日本農業祭のスケジュールにやや近づいたと思われるほど整ってきた。▼勤労感謝の宗教的な意味だけに終らず、農業の技術、生産、経営等すべての面にわたって、企業的な近代化の方向を打ち出すことの今日ほど重要なときはない。さらにこの祭りのテーマやテーマソングなど大野独特のローカルカラーがにじみ出ると申し分がない。▼また農民の生活や習俗に素材をとらえた農民文学の系譜や、それらに関連した劇化などが青年層たちの中から出ないものだろうか。新しい町や村づくりににはこうした文化性の側面が必要だと思ふ。▼ついでに代表的な農民文学作品をあげると、真山青果「南小泉村」、長塚節「土」、有島武郎「カインの末裔」、宮本百合子「貧しき人々の群」、小林多喜二「不在地主」、久保栄の戯曲「火山灰地」、島木健作「生活の探求」などや伊藤永之介、和田伝の作品も多い。飛騨高山の江島修「山の民」三部作は是非読むべき本のひとつだ。外国の作品ではバルザックの「農民」、パールバックの「大地」、スタインベックの「怒りの葡萄」は有名である。▼農村史はそのまま生きた日本の歴史である。古い昔から生き続けた故郷の記録は大切に保存しなければならぬ。その意味で市文化財保護委員会の数々の業績は貴重である。▼それに似て意味で、最後まで山を愛し故郷を愛しつづけ、若くして白山の地と消えた伊藤仁夫氏の遺作集「白山」は、郷土が誇り得る意味深い作品であろう。